



講座Ⅰ 「石見に生きる～石見の元気人が話す」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
1	林 千夏 (グラントワ弦楽合奏団 元代表・アンサンブル Flauceチェロ担当)	チェロは紡ぐ～地域と文化のハーモニー～ 島根県芸術文化センターグラントワのフランチャイズ団体の一つである『グラントワ弦楽合奏団』や、グラントワ提携アーティスト『アンサンブル Flauce (フラウセ)』等でのチェロ演奏活動をおもに石見地方にて継続中です。アンサンブル Flauce による生演奏(約 20 分)とともに、これまでの音楽活動や、日々大切にしている思いや願いについてお話しいたします。	5月17日(土) 13:15～14:45	中講義室3
2	石橋 留美子 (益田市匹見町まちづくり コーディネーター)	匹見の魅力をおすそ分け 縁あって匹見町へ移住して丸6年。「まちづくりコーディネーター」として、情報発信や定住対策、地域資源を活かした田舎体験、地域外の方に作業支援をしていただくボランティア制度の運営などを行ってきました。日々の暮らしや仕事内容、UI ターンし地域づくりに取り組んでいる人々を紹介し、匹見の魅力をお伝えします。	7月2日(水) 18:15～19:45	中講義室3
3	白川 和子 (協同組合グループ石見 ブランド事務局長)	石見のモノづくり・ヒトづくり 石見地方の地域資源である石見焼や石州和紙を地元の人たちに使っていただき、ファンになってもらうための取り組みをしてきました。地域が元気になるために異業種の若者のネットワークづくりを仕掛けました。地域の資源をブランド化して、江津ならではのおもてなしをする取り組みのきっかけづくりなど。	7月9日(水) 18:15～19:45	中講義室3
4	花田 香 (NPO法人浜田おやこ 劇場理事長)	おとなと子どものよりよいパートナーシップが生まれるもの 「子どものために～してあげなくては」と、あたかも子どもを大事にしているような事業には数多く出会う。しかし、大人がよかれと用意した物は、果たして子どもが本当に求めることであるだろうか？ 2007 年から私たちは、子どもたちが舞台鑑賞の場を企画・運営する活動を行ってきた。その実践を垣間見ていただければ、今後のまちづくりにも役立つことと思う。	11月26日(水) 18:15～19:45	中講義室3
5	木暮 貴之 (匹見ワサビ生産グループ 美屋)	匹見わさび！地域ブランド復活を目指して！ わさび農家として1ターンの5年。わさび専業農家としては、食べていけないのが現状です。現状を打破すべく、匹見わさびを地域ブランドとして復活させ、加工、販売まで、四苦八苦している美屋の活動を紹介します。	12月10日(水) 18:15～19:45	中講義室3

講座Ⅱ 「地域からの国際協力～島根から世界へ、そしてグローバルへ！」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
6	中村 純二 (島根県立津和野高等学校 魅力化コーディネーター)	マダガスカルから石見へ～教育の最前線から最先端へ～ 4 年間の小中学校での教員生活を経て、マダガスカル教員養成校へ。2 年間、現地語マダガスカル語と公用語フランス語での授業づくりの日々。帰国後、選んだ先は、県内で人口減少が最も激しい津和野町にある県立高校。町の未来において統廃合の危機にある高校が持つ意味。そしてマダガスカルと島根の共通点をお話したいと思います。	6月18日(水) 18:15～19:45	中講義室3
7	生越 大地 (わなか農園)	農をとおして 農業とはどんな仕事？ 土をいじり植物を育てること？ 餌を与え家畜を太らせること？ 汗水たらして食料を作ること？ 食料とは？ 専業農家の長男として農業を目指し、大学、農業改良普及員を経て、2 年半の青年海外協力隊活動。就農 10 年の現在は、地元の資源を生かした循環農業、農業フィールドを生かしたコミュニティ作りを目指していく。	6月25日(水) 18:15～19:45	中講義室3
8	豊田 武雄 (NPO法人アンダンテ21 理事長)	経済成長思考について考えてみよう タイ・インドネシア・ケニア・パレスチナで住民参加型地域開発の仕事をしてきました。各国では、経済発展や近代化する中で数々の新たな社会問題が起きています。一方、経済成長に一気に進んだ日本社会が既に失った価値観や精神性が彼らの生活の中に垣間見られます。各国の事例やトピックスの紹介を通して、また地元 NPO 「アンダンテ 21」の活動を通して、急速に進む少子・高齢化社会に向けて、コミュニティのあり方や幸福や豊かさについて一緒に考えてみたいと思います。	7月16日(水) 18:15～19:45	中講義室3

講座Ⅲ 「世界を旅する」

No	講師	講座名	概要	日時	会場
9	ドナルド・マルヤマ (浜田市国際交流員)	アメリカを旅する	各国の紹介はもちろん、旅行をするならここがオススメ！とか、旅行の時に使えるちょっとした会話など、国際交流員の方が、さながらツアーコンダクターに扮したごとく、それぞれの国について、みなさまにご紹介いたします。	6月25日(水) 13:15～14:45	中講義室3
10	タチアナ・クラビヴィナ (島根県国際交流員)	ロシアを旅する		7月16日(水) 13:15～14:45	
11	王 恒 (浜田市国際交流員)	中国を旅する		7月23日(水) 13:15～14:45	
12	金 恩志 (浜田市国際交流員)	韓国を旅する		7月30日(水) 13:15～14:45	

講座Ⅳ 「大学へ行こう」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
13	福原 裕二 (浜田キャンパス)	「たけしま」(鬱陵島) に暮らした日本人たち 竹嶋渡海禁止の「高礼」(浜田市郷土資料館)、「會津屋八衛門氏頌徳碑」(浜田市松原町：本当は「× 會津屋」→「○今津屋」) など、今なおここ浜田には、「たけしま」に縁のある文物が存在します。それもそのはず、「たけしま」の歴史の一部は、山陰地方のそれでもあるからです。「たけしま」に行ってみよう、そんな話ができればと思います。	5月7日(水) 18:15～19:45	中講義室4
14	松田 善臣 (浜田キャンパス)	知って考えよう！浜田市の公共交通 人口減少やモータリゼーションの進展など、公共交通を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。このままの状況が続けば、公共交通を維持し続けることは困難となり、クルマを運転できない人たちの生活の足が奪われてしまうかもしれません。こうした状況に私たちはどう立ち向かえばよいのでしょうか。まずは現状を知り、そして一緒に考えてみましょう。	5月14日(水) 17:45～19:45	中講義室3
15	西藤 真一 (浜田キャンパス)	知ればナットク！浜田の鉄道史 浜田自動車道は現代の陰陽連絡において大きな役割を果たしています。しかし、明治時代には浜田と広島を結ぶ鉄道が計画されていたのをご存知ですか。昭和 55 年まで、一時期を除いて実際に建設工事が行われていました。今となっては幻と消えた鉄道路線ですが、現存する遺構をてがかりに、当時の鉄道政策についてご紹介します。		
16	村井 洋 (浜田キャンパス)	美を紡ぐ心・育む心：『「いき」の構造』を読む 江戸文化の佇まいの中で育ちそれらが失われてゆくことを惜しんだ哲学者九鬼周造はヨーロッパ留学中に本書を執筆しました。「いき」という独自の美意識の解明をヨーロッパ哲学から学んだ方法を用いて行っています。このエッセンスを紹介し、同じくハイデッガーに学んだハンナ・アーレントの文化芸術論と対比させてみたいと思います。	5月21日(水) 18:15～19:45	中講義室3
17	江口 真理子 (浜田キャンパス)	異文化間ビデオ会議の教育的効果 島根県立大学では 2010 年から海外の大学生と島根県立大学の学生がビデオ会議を利用してディスカッションを行う授業を展開しています。アメリカをはじめ世界6カ国の大学と協力して異文化理解の科目を提供しています。本講座では、ビデオ会議を用いた異文化間交流がもたらす可能性や課題について講義します。	5月28日(水) 18:15～19:45	中講義室3
18	八田 典子 (浜田キャンパス)	「景観の大切さ」について考えてみよう 「よい景観」、「大切にしたい景観」とは、どのようなものなのでしょうか？ 魅力的な「景観」は、人々の心に響く地域の文化であり、住民の誇りであり、また、重要な観光資源でもあります。「しまね景観賞」や小布施町の取り組み等を紹介しながら、地域特性や人々の心情と結びつけた「景観の大切さ」について考えてみたいと思います。	6月4日(水) 18:15～19:45	中講義室3
19	瓜生 忠久 (浜田キャンパス)	最近のテレビ・ドラマ制作の傾向～「あまちゃん」(13NHK)「半沢直樹」(13TBS)とその後～ ここ数年「テレビばなれ」が顕著となり、テレビ各局では視聴率の低下が大きな悩みとなっている。そんな中で昨年、TBS の「半沢直樹」が瞬間視聴率 40%を超え、また NHK「あまちゃん」もヒットした。「テレビというマス・メディア」の影響を示したことになる。これらヒット番組の特性を考え、今後の方向性を探ってみよう。	6月11日(水) 18:15～19:45	中講義室3
20	ケイン・エレナ・アン (浜田キャンパス)	シャーロック・ホームズを英語で読みましょう この講座は簡単な英語で行い(高校 2、3 年生程度。日本語での説明も対応可)、聞く・読むだけで楽しめる内容になっています。絵や字幕付き映画、TV ドラマを使って作者のコナン・ドイルや彼の生誕地エディンバラ市、主な登場人物の紹介をし、最後にシャーロック・ホームズの短編を読みます。できれば英和・和英辞書をお持ちください。	7月23日(水) 18:15～19:45	中講義室3
21	久保田 典男 (浜田キャンパス)	中小企業の経営診断～フレッシュマン・フィールド・セミナーの取組から～ 中小企業の経営診断の手法にはどのようなものがあるのでしょうか。本講座では島根県を代表する中小企業を実際に分析した大学 1 年生向けの必修科目「フレッシュマン・フィールド・セミナー」の実例から、企業の強み・弱み・機会・脅威などを分析する SWOT 分析など、中小企業の経営診断の手法を紹介します。	10月8日(水) 18:15～19:45	中講義室3
22	シローコフ・ワヅム (浜田キャンパス)	日本とロシアにおけるハンセン病意識の比較 50 年以上療養所で生活した在日ロシア人トロチエフ氏(1928 年ー 2006 年)との対談を元に日本人とロシア人が持つハンセン病に対する意識の相違点を比較しながら、病を乗り越えるための要因を考える。	11月19日(水) 18:15～19:45	中講義室3
23	村井 洋 (浜田キャンパス)	海の心の歩み：シュミット『陸と海と』を中心に 「世界史的一考察」というサブタイトルをもち「わが娘アニメに語る」と添えられた本書はドイツの法学者の手になる、人類と海の交流を描いた書物です。私たちはここに『白鯨』や『宝島』の世界を見、現代の海洋問題に関わる知見を得ることができます。余力があれば、現代の代表的海洋思想家エリザベス・マンの思想を辿ります。	12月3日(水) 18:15～19:45	中講義室3

【会場】 講義・研究棟「中講義室3」または「中講義室4」